

第6節 商 工 関 係

1 商工

(1) 商工総務

ア 中小企業資金融資貸付金

225,749,000 円

中小企業者の経営安定と維持発展に寄与するため、預託金融機関を通じて運転資金及び設備資金の融資を行った。

預託金額 225,749,000 円（協調倍率2倍）

預託融資の種類	中小企業一般融資		観光事業融資	
	運転資金	設備資金	運転資金	設備資金
資金の使途	1,000 万円	1,500 万円	1,000 万円	3,000 万円
限度額	運転資金と設備資金を併用する場合は、1,500 万円		運転資金と設備資金を併用する場合は、3,000 万円	
	中小企業一般融資と観光事業融資を併用する場合は 3,000 万円			
融資期間	5 年以内	10 年以内	5 年以内	10 年以内
貸付利率（信用保証付）	1.7%以内	2.0%以内	1.7%以内	2.0%以内

預託金融機関 広島銀行、もみじ銀行、広島信用金庫、広島市信用組合、山口銀行及び四国銀行

平成 21 年度分 貸付決定件数 9 件

貸付総額 50,210,000 円

平成 21 年度末 貸付残高 211,920,000 円

(2) 商工業振興

本市における商工業の活性化、企業立地の推進などを図るため、各種団体と連携して商工業振興施策を実施した。

消費生活においては、不当請求、架空請求、訪問販売、電話勧誘販売、多重債務問題など多種多様化している。こうした状況の中で、市民の生活を守るため、消費者啓発、消費生活相談などを実施した。

なお、財団法人廿日市市産業振興公社が平成 22 年 3 月 31 日限りで存続期間が満了することに伴い、商工業活性化を検討するため、産・学・官により組織された廿日市市産業振興協議会を設立するとともに、木材利用の促進及びけん玉製造販売を行うため、市民を中心とした木材利用センター運営協議会を設立した。

ア 商工業振興事業

187,531,328 円

(7) 商工会議所及び商工会への支援

中小零細企業の経営改善普及事業である金融、経営、税務、労務などの相談及び指導を積極的に推進していくため、廿日市商工会議所、佐伯商工会、大野町商工会及び宮島町商工会を支援した。

廿日市商工会議所補助金 15,900,000 円 会員数 1,507 名

佐伯商工会補助金 5,920,000 円 会員数 388 名

大野町商工会補助金 6,960,000 円 会員数 531 名

宮島町商工会補助金 4,700,000 円 会員数 207 名

(4) 木材利用センター運営事業

木材利用センターの運営を財団法人廿日市市産業振興公社に委託し、木工教室、木工まつり、木工工作コンクールなどの開催を通して、「木工のまちはつかいち」のPRに努めたほか、伝統的木工品（けん玉）の製造及び販売を行い、その普及に努めた。

木材利用センター運営業務委託料 3,000,000 円

平成 21 年度木材利用センター利用者数 9,241 人

(ウ) 商工業活性化計画策定事業

廿日市市商工業活性化ビジョンに掲げられた各種事業のうち、実現可能なものについて実施に移すべく、商工業活性化ビジョン推進業務を委託し、プラットフォーム機関である廿日市市産業振興協議会設立に伴う他自治体の類似事例調査、会議の運営補助及び地元企業の人材ニーズ調査を実施した。

商工業活性化ビジョン推進業務委託料 2,730,000 円

(エ) 新規ビジネスの創出・商品開発への支援

商工業の一層の振興を図るため、異業種間交流を重点に機能性小木工品開発の支援として、清水木工所と日本赤十字広島看護大学が連携して商品化した肩こり解消器具「秀木の指（しゅうぼくのゆび）」の開発に対し、補助金を交付した。

新商品等開発事業補助金 782,511 円

(オ) 創業支援（インキュベーション）事業

市内で創業しようとする人を支援するため、創業支援事業を委託し、起業時の拠点となるインキュベーション施設「しゃもじんキューブ」の整備、起業家を支援するインキュベーションマネージャーの養成、施設の入居者（3組）の選定などを行った。

創業支援事業業務委託料 3,000,000 円

イ **宮島伝統産業会館管理運営事業**

5,114,637 円

宮島伝統産業会館の整備により、もみじ饅頭の手焼き体験が前年度より 7,389 人増、杓子づくり体験が前年度より 5,884 人増と大幅に増えたことで、観光客の増加、滞在時間の延長、新たな修学旅行客の誘致等に貢献した。

伝統工芸品普及事業委託料 2,742,189 円

もみじ饅頭手焼き体験 13,186 人

杓子づくり体験 8,765 人

ウ **消費者啓発事業・消費生活相談事業**

3,817,557 円

消費生活の安定と生活文化の向上を図るため、市消費者協会の協力を得て消費生活に関する知識の普及啓発による消費生活トラブルの未然防止に努めるとともに、広島県消費者行政活性化事業補助金を活用し「悪質訪問販売お断り」プレート（700 枚）の作成、消費生活講演会、消費生活フェアなどを実施した。

消費生活相談では、廿日市市消費生活センターの相談員が、消費生活相談、商品に対する苦情処理などに対応し、多様化する消費生活トラブルの未然防止及び消費者被害の救済に努めた。相談件数は前年度より 13 件増となっているが、前年度未実施の出前トーク（5 件）の実施により、廿日市市消費生活センターを広く周知したものと思われる。

また、消費者啓発、相談場所周知のため市消費者協会の組織に民生児童委員等に加え、組織の強化を図った。

消費者啓発事業委託料（廿日市市消費者協会） 1,000,000 円

消費生活相談員報酬 2,394,000 円

相談件数 637 件

(3) 観光

本市の観光振興を図るため、廿日市市観光協会、（社）宮島観光協会及び近隣市町と連携して、観光事業を展開するとともに、観光施設の整備及び観光宣伝等を実施した。

ア **観光振興事業**

121,182,071 円

(7) はつかいち観光推進会議の設置

多様化する観光ニーズへの対応や地域の特性を生かした観光振興のあり方について官民協働で考え、推進するために「はつかいち観光推進会議」を設置し、廿日市市観光まちづくり懇話会で作成したアクションプランの推進、点検と市内関係機関の相互連携を深めることができた。

はつかいち観光推進会議委員報酬（有識者）	28,000 円
会議構成員	12 人（委員 10 人、特別顧問 2 人）
会議	2 回開催

(イ) 観光宣伝等

広告及びパンフレット等を配布することによって、廿日市市全域への集客を図ることができた。

新聞広告等	1,272,500 円
パンフレット作成（外国語版を含む。）	7,306,950 円

(ロ) 廿日市市観光協会、（社）宮島観光協会等の活動状況

本市観光事業の充実・発展を図るため、観光協会等を支援し、密接な連携を図りながら観光宣伝、各種観光事業等を推進した。

廿日市市観光協会補助金	11,280,000 円	会員数	団体	121	個人	98
社団法人宮島観光協会補助金	36,766,000 円	会員数	団体	93	個人	117
さいき水まつり実行委員会事業補助金	3,300,000 円					
さいきアーチェリー大会実行委員会事業補助金	360,000 円					
吉和夏まつり実行委員会事業補助金	3,410,000 円					
花のある吉和づくり事業補助金	1,250,000 円					
おのおのあじさいまつり実行委員会事業補助金	3,500,000 円					
宮島クロスカントリー全国大会事業補助金	129,000 円					
大野かきフェスティバル実行委員会事業補助金	4,829,000 円					
宮島お砂焼まつり実行委員会事業補助金	770,000 円					

(ハ) 委託事業の実施状況

廿日市市観光キャンペーン事業

委託先 廿日市市観光協会
委託料 8,160,000 円

主な内容	・廿日の市（毎月 20 日）	月 1,000 人
	・はつかいち桜まつり（4 月 5 日）	53,000 人
	・全国親善ゲートボール大会（11 月 10・11 日）	1,200 人

二百廿日豊年市民祭事業

委託先 二百廿日豊年市民祭実行委員会
委託料 642,000 円
実施日 9 月 12・13 日 参加者 20,000 人

(ニ) 観光ガイドの充実

宮島の観光案内を充実し、おもてなしを高めるため、観光ガイドヘルパーの活用促進を図った。

宮島観光ガイドヘルパー活用促進事業委託 2,500,000 円

(ホ) 岩倉地区整備事業

岩倉温泉周辺にある多様な観光資源を生かし、観光・交流の推進を図るための調査を行った。

岩倉温泉地区調査等委託 1,837,500 円

(ヘ) みやじま国際パワートライアスロン事業補助

合併した 5 市町村を縦断する「はつかいち縦断みやじま国際パワートライアスロン大会 2009」の開催を支援し、スポーツを通して本市をアピールすることができた。

国際パワートライアスロン大会 2009 実行委員会事業補助金 3,000,000 円
開催日 6 月 21 日

参加選手数 415人 参加ボランティア数 約2,000人 観衆 約60,000人

(ク) はつかいちフードフェスティバル(食べん祭はつかいち) 実行委員会事業補助

食を通して本市をアピールするため、「食べん祭はつかいち はつかいち」の開催を支援し、地産地消の推進、食の安全のPRに寄与した。

食べん祭はつかいち実行委員会事業補助金 2,000,000円

開催日 1月24日

参加者 12,000人

(ケ) 国外への情報発信強化

国外への情報発信を強化するため、宮島を中心とした観光プロモーション用の多言語版DVDを作成した。また、モン・サン＝ミッシェルと観光友好都市提携を行い、宮島桟橋に世界遺産紹介コーナーを作成して、市民や観光客に対する周知を図った。

廿日市市観光DVD作成業務委託 2,000,000円

世界遺産紹介コーナー作成委託 1,077,300円

(コ) その他事業

次の団体と共同して広域的な事業を展開することができた。

団体名	事業内容	負担金
広島県観光連盟	広域宣伝活動等	3,530,000円
広島・宮島・岩国地方観光連絡協議会	大都市圏での宣伝活動、ガイドブック作成	1,290,000円
日本三景観光連絡協議会	宣伝活動、ガイドブック・ポスター作成等	700,000円
広島・宮島・岩国地域観光圏推進協議会	イベントの実施、モニタリング事業等	5,000,000円
京都・広島国際観光客誘致推進協議会	米国インバウンド促進等	300,000円
岡山県国際観光テーマ地区誘客促進協議会	フランスインバウンド促進等	300,000円

(カ) 平成21年観光客数と観光消費額

(単位：千人、千円)

県内客 (A)	総観光客数											観光客 合計 (C) = (A)+(B)	観光 消費額
	県外客												
	山 陽	山 陰	四 国	九 州	近 畿	中 部	関 東	東 北	北 海 道	外 国	小 計 (B)		
2,476	486	120	149	363	808	430	647	116	100	116	3,335	5,811	21,757,470

イ **観光施設管理事業**

38,082,559円

宮島観光の快適な環境を整備するため、老朽化した宮島口レストハウスの改修工事及び御笠浜公衆トイレのリニューアル工事を行った。

宮島口観光案内所改修工事 2,782,500円

御笠浜公衆トイレ改修工事 6,200,000円

(注) 予算に定めるもののうち、本年度に支出を終わらないで、地方自治法第213条及び同法施行令第146条の規定により、翌年度に繰越して使用するものは次のとおりである。

御笠浜公衆トイレ改修工事 13,594,000円

ウ **上屋管理事業**

27,142,564円

宮島桟橋旅客ターミナル観光案内所業務委託 4,380,000円

エ **宮浜温泉地区整備事業**

74,084,368円

市民の健康増進や、宮浜温泉地区の活性化を図るため、グラウンド・ゴルフ場の整備を行った。

宮浜温泉グラウンド・ゴルフ場整備工事	49,066,500 円
用地購入費	22,104,368 円

(4) 観光交流施設

アルカディア・ビレッジ、道の駅スパ羅漢、吉和魅惑の里、宮浜べにまんさくの湯について、サービスの向上及び効率的な運営を目指し、施設の管理運営を指定管理事業者に委託した。

ア **はつかいちアルカディア管理事業**

31,530,035 円

アルカディア・ビレッジ

区 分	平成 20 年度	平成 21 年度
指定管理者	(株) カルフート	(株) ケントク
施設管理業務委託料	0 円	21,000,000 円
施設管理システムリース料	1,677,060 円	1,677,060 円
利用者数	76,416 人	67,963 人

イ **スパ羅漢管理事業**

30,321,046 円

道の駅スパ羅漢

区 分	平成 20 年度	平成 21 年度
指定管理者	(株) ケントク	(株) ケントク
施設管理業務委託料	5,585,000 円	5,544,000 円
利用者数	44,130 人	45,653 人

ウ **魅惑の里管理事業**

70,874,616 円

吉和魅惑の里

区 分	平成 20 年度	平成 21 年度
指定管理者	デリカウイング(株)	梶広建設 (株)
施設管理業務委託料	14,000,000 円	22,300,000 円
利用者数	27,178 人	23,161 人

エ **宮浜べにまんさくの湯管理事業**

65,534,740 円

宮浜べにまんさくの湯

区 分	平成 20 年度	平成 21 年度
指定管理者	(株) 広鉄二葉サービス	(株) 広鉄二葉サービス
健康増進施設リース料	59,954,340 円	59,954,340 円
健康増進施設販売管理システムリース料	3,516,660 円	3,055,150 円
利用者数	117,770 人	87,871 人

(5) 自然公園

ア **宮島地域シカ対策事業**

9,861,028 円

宮島地域に生息するシカと人が、良好な状態で共存していくため、『廿日市市宮島地域シカ対策協議会』において、個体数管理や生息環境の保全を含む宮島地域シカ保護管理計画を策定した。また、管理計画にそって傷病個体の保護施設の改修並びに、衰弱個体の保護施設整備を行った。

宮島地域シカ保護管理対策業務委託料	2,782,500 円
江之浦傷病個体保護施設修繕料	1,014,300 円
入浜衰弱個体保護施設整備工事	2,885,400 円